

 第56回 GODACセミナー

「海が教えてくれる私たちの未来」

—地球深部探査船「ちきゅう」の成果から—

講 師 ^{くらもと しん いち}
倉本 真一 国立研究開発法人海洋研究開発機構
地球深部探査センター センター長代理

平成27年

12月6日(日)13:30 ~ 15:00

牧志駅前ほしぞら公民館 ホール (那覇市安里2-1-1)

お問い合わせ GODAC国際海洋環境情報センター

TEL : 0980-50-0111 Mail : uketsuke_godac@jamstec.go.jp

**聴講
無料**

先着 150名 ※事前申し込み制

12月1日(火)までに、GODAC受付カウンターまたはお電話・メールでお申し込みください。

詳しくはWebへ

GODAC

検索

主 催

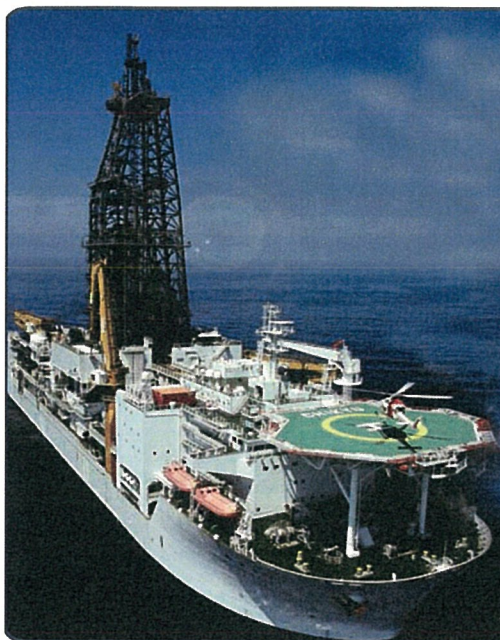
 **JAMSTEC** 国立研究開発法人
海洋研究開発機構

 **GODAC** 国際海洋環境情報センター

共 催

那覇市教育委員会

「海が教えてくれる私たちの未来」 —地球深部探査船「ちきゅう」の成果から—



美ら海を支える環境は、過去から現在、そして未来へと、どのように変化してきたのでしょうか？海の変遷は、海底に降り積もる堆積物に記録され、それを掘り起こして調べることができます。また地球環境だけでなく、地震・津波や火山活動の歴史、そして人類の歴史など様々な証拠が海底下に今も残されています。古いものはおよそ2億年まで遡ることができます。

また海は豊富な食物資源をもたらし、人々の生活を支えると同時に、産業活動に欠かせない金属資源なども生み出しています。地球の営みは、地球を1つのシステムと捉え、その奇跡的なバランスの上で46億年の歴史を刻んできました。その歴史の一端を紐解く試みがなされています。

地球深部探査船「ちきゅう」は、世界最先端の掘削機器と研究設備を装備した科学掘削船です。「ちきゅう」は2005年にJAMSTECに引き渡され、今年は就航10周年にあたります。沖縄島西方沖でも掘削した経験を持っています。これまで「ちきゅう」が海底を掘削した成果をもとに、地球の歴史を紐解き、過去から現在、そして未来の地球を理解する知恵を海から一緒に学びましょう。



■ プログラム

13:30 ~ 13:35

※13:20開場

開会挨拶

伊良皆 宜俊 那覇市教育委員会 生涯学習部 部長

13:35 ~ 14:55

※質疑応答含む

講演

「海が教えてくれる私たちの未来」

—地球深部探査船「ちきゅう」の成果から—

倉本 真一

国立研究開発法人海洋研究開発機構
地球深部探査センター センター長代理

14:55 ~ 15:00

閉会挨拶

鷲尾 幸久

国立研究開発法人海洋研究開発機構
国際海洋環境情報センター センター長

■ 講演者紹介



くらもと しんいち
倉本 真一

国立研究開発法人 海洋研究開発機構
地球深部探査センター センター長代理

1991年に東京大学より理学博士の学位を授与され、その後ハワイ大学でのPos Docを経て、通商産業省工業技術院地質調査所（現在の産業技術総合研究所）に研究員として着任。専門は海洋地質学。日本周辺海域の調査、特に日本海側の構造調査、海底活断層調査などを行ってきた。2002年10月に地球深部探査センター（CDEX）発足時にJAMSTECに移り、現在は地球深部探査船「ちきゅう」の運用のリーダーを行う。「ちきゅう」による深海掘削を通して、新たな科学の地平を拓き、人類の未来に貢献する事が仕事の魅力であり、自身を突き動かすモチベーションと語る。1962年、東京生まれ（53歳）